

2021年2月14日  
福岡東南ロータリークラブ

## ネパール新型コロナウイルス対策支援(中間報告)

### 1. 概要

- ネパール連邦民主共和国マディアプール・シミ市の新型コロナウイルス対策を支援するため、マディアプール・シミ市からの強い要請を受け、マディアプール・ロータリークラブが主導し、同市立「ネパール韓国友好病院」に人工呼吸器2器その他の医療機器を寄贈するもの。
- 本事業は国際ロータリーのグローバル補助金事業(総額 40,000 米ドル)であり、福岡東南ロータリークラブからの寄付金 8,090 米ドル、現地市役所からの寄付金 11,910 米ドル、3292 地区財団活動資金(DDF)5,000 米ドル、国際財団活動資金(WF)からの上乗せ 15,000 米ドル。2020年7月14日承認。
- 福岡東南 RC の供出分 8,090 米ドル(878,461 円)はクラブ有志の募金である。

### 2. 事業進捗状況

- 人工呼吸器及び付属機器(コンプレッサー等)2式を調達、既に寄贈。合わせて台湾の RC から託された車椅子4式も寄贈。
- 10,960 米ドルが未執行であり、現地の状況に合わせて何か最適であるかなどについて現地側関係者と協議中。救急車等にも搭載できる携帯型人工呼吸器などを検討中。

### 3. 寄贈式

- 2021年1月19日に寄贈式が開催された。出席者は次のとおり:
  - 国際ロータリー3292 地区 ラマ・カンデル 副ガバナー
  - マディアプール・シミ市マダン・スندان・シュレスタ市長
  - 同市アンジャン・デヴィ・マディカルミ副市長
  - マディアプール・ロータリークラブ ジャガット・クリシュナ・プラジャパティ 会長
  - 同クラブ創設会長スレンドラ・プラジャパティ氏
  - マディアプール市立ネパール韓国友好病院グイヤン・カヤスタ院長

- 福岡からはリモートで福岡東南ロータリークラブ 長谷川裕一会長が参加、「両国は遠く離れているが、新型コロナウイルスという共通の禍に打ち勝つべく、心を一つにして共に闘いましょう」と述べた。
- マディアプール・シミ市長からは、「このような困難な時に人工呼吸器を寄贈いただき感謝します、大いに活用させていただきます」という謝意の表明があった。

#### 4. 写真、報道









**Rotary Response To COVID-19**  
**Handovering Program of Ventilators, Wheelchairs and Medical Accessories to Nepal Korea Friendship Municipality Hospital**

19th Jan. 2021

**Global Grant Partners :**

- Rotary International, TRF
- Rotary World Fund
- Rotary Club of Fukuoka, SouthEast Japan
- RI District 3292
- Madhyapur Thimi Municipality

**Organized By :**  
**Rotary Club of Madhyapur**  
**RI District 3292 Nepal/Bhutan**

西日本新聞 2021年1月20日 福岡都市圏版



福岡東南ロータリー  
 ネパールに医療機器  
 コロナ対策支援

福岡東南ロータリークラブ（福岡市）は19日、ネパールの新型コロナウイルス対策を支援するため、現地の病院に人工呼吸器などの医療機器などを寄贈した。ネパールの首都カトマンズの郊外にあるマディヤプル・シミ市のロータリークラブとかねて交流があったことから支援することになった。会員からの寄付金に、国際ロータリーなどが

ら協力も合わせ、総額4万円（約416万円）相当を贈った。オンラインで現地と結んだ寄贈式で、福岡東南ロータリーの長谷川裕一会長（はせがわ相談役）は「両国は離れているが、共通の禍に打ち勝つべく心を一つにして共に闘おう」とあいさつした。（久永健志）

寄贈された人工呼吸器を囲むネパールの関係者（福岡東南ロータリークラブ提供）

## 5. 清算

- 残事業実施後、締め切り 2021 年 7 月 22 日までに清算。